

平成 28 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

- 三次元陥没予兆診断技術に関する実証研究（環境総合テクノス・日水コン・豊中市 共同研究体）

MMS と空洞探査を組み合わせ、また自動解析等による 3 次元探査技術の効率化により、空洞の検知を効果的に行うための調査データの取得および解析が実施され、一定の成果が得られている。

この技術の確立においては、さらに多くの事例を積み重ねた解析が必要であることから、そのための調査をもう一年継続することが望ましい。ただし、一部路線においては、必要なデータを確実に取得できる都市・路線を国総研が選定して実証を行うことが望ましい。